

## 地区復興まちづくり便りへの意見等

※○番号は第1回資料で紹介したものの再掲です。

### ■検討会の進め方・メンバー等について

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会の開催数は4回だけで足りるか？</li> <li>・検討会の開催前に町内会単位等の意見交換会の開催は無いのか</li> <li>・検討会の公聴は出来るのか？</li> </ul> <p style="text-align: right;">(50歳代 男性)</p>
②	<p>地区ごとに会を開催されているが、足が不自由なため行くことができず残念だ。参加できる方法を教えて欲しい。</p> <p style="text-align: right;">(70歳代 女性)</p>
3	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、津軽石地区復興まちづくり検討会が今後あるのですか。</li> <li>2、同地区検討会メンバーに被害者外の方が多いため活発でないよう。</li> <li>3、赤前地区には津軽石の方々が耕地を所有しているため、メンバーに入れては。</li> <li>4、説明の図をもう一寸鮮明にしてほしいです。</li> <li>5、津軽石地区の検討会も出来るだけ早くして下さい。</li> </ol> <p style="text-align: right;">(男性)</p>
4	<p>地区復興の原案を作っているのだが、地区全体・子・孫・子々孫々・今後五十年後百年後を考慮した意見が交わされることがなく、現在の自分の家、土地がどうなるか等の近視眼的話に終始してしまっているような気がします。特にA班・C班の発表はそのような傾向が強く感じられました。B班の提案は地域全体を見渡したいいものだと感じました。</p> <p>前回・今回と同じ地域からのメンバーで班構成したので、提案が硬直化してきていると感じられます。他の構成メンバーの意見も直接聞きたいので、今回は1/3ずつ班員の構成を入れ替えては班の組み換えをして欲しい。</p> <p style="text-align: right;">(50歳代 男性)</p>

### ■支援等について

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災した土地を買い上げて欲しい</li> <li>・住宅債券にあたり補助して欲しい（土地購入費、新築費用など）</li> <li>・住宅再建支援金の申し込み期限を延長してほしい。現状の期限では短すぎてその間に再建するのは非常に困難と考える。資金面、土地の確保など</li> </ul> <p style="text-align: right;">(40歳代 男性)</p>
---	--

### ■防潮堤など安全確保について

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法の脇地区は嵩上げに地区の存続できることを願う。</li> <li>・防潮堤を嵩上げた場合、今回と同規模の津波の場合、湾奥の地区の被害が甚大になるのではないかと。湾口防波堤、閉伊川、津軽石川堤防の嵩上げ等の整備等を最優先に願う。</li> <li>・津波の湾内の反射波を検証し、公表願う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(50歳代 男性)</p>
②	<p>防潮堤は高く、家は高台の方をお願い出来れば良いと思います。</p> <p style="text-align: right;">(70歳代 男性)</p>
3	<p>津軽石地区における津波対策を考える上でひとつには宮古市が水門の開閉についてどう考えるのかによって津軽石川流域に居住する住民がどう判断するかにつきると思います。津波が来た時、水門を開ける事によって押し寄せる波を津軽石川上流に溯上させる事により被害を少なくおさえるとする声や、開く事により弘川、大判川の上流にある地区に多大な被害が出るから開く事には反対という声も一方ではあります。</p>

## ■避難所について

①	これから先どんな災害が起きるのか分かりませんが避難所の事を良く考えてほしいです。 (70歳代 男性)
②	・防災用飲料水槽の建設整備 ・避難場所（岡田恵比須堂、館山公園南側通路）検証・整備 (50歳代 男性)

## ■道路・鉄道・交通について

①	・国道を嵩上げて欲しい ・駒形橋の幅を広げて欲しい (40歳代 男性)
②	JR線は安全な場所に作って欲しいです。 今回の震災により物流面からも縦貫道の早期完成を確実にし、また106号線も真直ぐに治して欲しい。 (40歳代 男性)
③	全ての道路が津軽石小学校につながり色々な面において良い事だと思いました。どうしても津波イコール高台。高台にて状況を把握してから避難所へと移るわけですから稲荷下踏み切りからヘリポートへの道路まで整備してほしいものです。ここの道路は少しの雨でもすぐ水があふれ長年にわたり苦勞しております。ダムが出来ても排水溝が小さすぎます。水害に強い街づくりという事で、ここの道路も考えて頂きたいものです。 (60歳代 男性)
4	私は赤前方面で共同作業で30人程の人員でやっておりますが、いつも休憩時には眺めながら話合いますが、やっぱり道路の問題です。法の脇方面から根井沢の避難道です。次に、防波堤の嵩上げが必要かと話し合っておりました。テーブルで皆で話された事が一般市民も考えているんだと思い、全く我々と同じと思います。 又、中学校の通学路、駒形橋がありますが、この橋が狭いもので学生達の送迎バスも大変ですし、国道45号の信号待ちに困っているのですが小学校の方面に移転された方が便利で良い街が出来ると思います。稲荷橋をもっと巾広くなり市営球場近くに避難塔があれば安心と思います。尚、赤前方面は重茂に通ずる防波堤並に嵩上げされた道路が必要と思います。 (男性)

## ■施設について

①	保育所の新設は清寿荘の隣接地に建設し、世代間交流を図ったらどうか。(50歳代 男性)
②	津軽石地区の被害の範囲も広く、現在弘川に仮設住宅の方やすでに建替え中の方もいるので、人は増えてくることが予想されます、弘川・大伴川付近にスーパーなど店や、子供たちが遊べる公園を造って欲しいです。 (40歳代 男性)

## ■まちづくりの方針について

①	障害者の痛みのわかるまちづくりをしてほしい。 (70歳代 女性)
---	-------------------------------------

## ■避難路等について

①	馬越地区に避難したが、避難所（津軽石小学校）までの道路が冠水し、竹やぶなどを歩き避難所までたどり着いた。馬越地区から小学校までの避難路を確保してほしい。歩行路で良い（車進入禁止） (60歳代 男性)
②	年老いた両親との老々家族で高台の移転等は無理と考えて浸水した物置等を改装して移り住んで早や3ヶ月も過ぎました。自分たちは津波の時工業高校に避難しましたが、工業高校からヒロセ電機の方に移動するのに大変苦労したことで、稲荷橋から工業高校経由の広い道路があったらと思っている。JR高架にした方がいいと思う。 (70歳代 男性)
③	2～3mの堤防を作り、津波発生時には停電しない回転灯を等間隔に設置し知らせる。津軽石川の水門のように利用できるようにし、短時間に避難できるように考えられませんか。 (40歳代 女性)

## ■移転先について

①	稲荷ヶ下と法の脇の間の山を崩し、法の脇地区に盛土する。広い宅地が出来るので、栄町で被災した方々にも宅地を提供できる。 (60歳代 男性)
②	高台に家に移転する場合、畑になっている土地に木が手入れもなく山のようにになっているので、森林の整備も求めます。赤前地区は、木を切れば高台移転、避難道路が十分可能ではないと思います。 (40歳代 女性)
3	「津波防災地域づくり法」国会で成立しました。この法律を受け国土交通省の基本指針案が明らかになり都道府県が浸水エリアや深さを予測する場合には、最大級の津波で堤防が倒壊するなど「最悪の条件」を想定するのは原則を明記されました。「何としても人命を守る」を基本に、被害防止の推進計画などの具体的な対策を市町村が主導するのが要とされています。 これをもとに土地利用の方針を考えると、防潮堤を T.P. +10.4m に嵩上げしても、一般的にコンクリート構造物の寿命は 50 年くらいであるため、「最悪の条件」を想定する場合、堤防や二線堤が決壊することを考慮しなければなりません。したがって、8m以上の浸水が予想される工業高校周辺と流失による全壊家屋が多数発生した鮭ふ化場より海側の栄通り地区は非可住地として計画したほうが良いと思います。鮭ふ化場より南側は3m以下の浸水予想なので、面的嵩上げをして可住地区の指定が可能だと思います。 非可住地区からの移転先として高台を造成して集落ごとに移転しても、現在でも高齢化が進んでいるので、近い将来、集落の維持ができなくなると思います。新たな集落を造るより既存の駒形地区・藤畑地区・新町地区・大判川地区等に移転先を確保するほうが、工事期間も短縮できるし、ある程度人口が集約した住みやすい集落ができると思います。 (50歳代 男性)

## ■埋蔵文化財調査について

1	埋蔵文化財の発掘調査が完了するまでに多額の費用と長い期間が費やされる事から高台移転とは云え时期的にいつ頃になるのか分からない状況の中で仮設住宅暮らしを強いられるのかという不安もあると思います。現在、この度の味噌有の大震災の中、昔の居住跡とかの調査に時間を取られる事無く、余程重要でない限り時間を短縮して造成してもらいたい。昔の事はある程度判明されており、それよりも今の生きる権利を大事に願います。 (男性)
---	--